

令和5年度 八代市立植柳小学校 学校だより No.14



いずかし

八代市立植柳小学校
校長 嶋村 立馬

植柳小学校校訓 「うつくしく、やさしく、たくましく、かしこく」

令和5年7月14日

馬頭琴を飾っています!!

いよいよ1学期も終わりに近づいてきました。来週金曜日から子供たちが楽しみにしている夏休みとなります。これから夏休みまで、それぞれの課題を思い出して、夏休みにすべきことを考える、そんな1週間にしてほしいと思います。そして、充実した夏休みを過ごしてほしいですね。

植柳小学校に大切に保存されていた馬頭琴を、今、校長室に飾っています。この楽器は、上部が馬の頭を模して作っており、馬頭琴と呼ばれています。馬頭琴は、モンゴルの楽器で、モンゴルの人々は、乗馬とこの楽器を幼い頃から一生懸命練習し、これらを上手にこなすようになって、一人前と見なされるそうです。日本では、馬頭琴は小学校2年生の国語の教科書で習う「スーホの白い馬」でよく知られています。

殿様にだまされて捕らえられてしまったスーホの愛する白馬は、全身に矢を射られながらもスーホのもとへ逃げ帰りますが、そこで息絶えてしまいます。ある日、悲しみにくれるスーホの夢の中に白馬が現れて、「私の体を使って楽器を作ってください。そうすれば、あなたといつも一緒にいられます…」と告げ、馬頭琴が生まれたという民話が、2年生で学習する「スーホの白い馬」の内容です。馬頭琴は、あまり目にすることがない楽器なので、植柳小学校に保存されていることがとても貴重だと思います。

2年生の子供たちがこの学習をする際は、どんな楽器か実際に見て、物語のおもしろさや登場人物の思いを考えてくれたら願っています。お子さんの音読などで、このお話を耳にされた方もいらっしやると思います。校長室に展示してありますので、学校にお越しの際は、ぜひ見てみてください。



こども口説き手をしてみませんか

植柳住民自治協議会の行事である「ふるさと祭り植柳盆踊り」が、今年は開催されます。期日は8月14日(月)、植柳小学校の運動場で行われるとのことです。その盆踊りの際のこども口説き手の募集が、夏祭り実行委員会からありました。盆踊りは口説きといわれる盆踊り唄で行われます。踊りの輪の真ん中で口説き手が太鼓の音に合わせて口説きの節を唄います。

今、高学年の子供たちに声かけをしています。なかなかやってみようという人がいません。もしやってみたくらいというお子さんがおられましたら、20日(木)の終業式までに、連絡帳等で担任の先生に伝えていただくか、学校まで直接、ご一報いただくと助かります。年齢は特に制限されていません。

ご協力のほど、どうぞよろしくお願い致します。